

地球環境ファシリティ(GEF)第2回総会

- 日本の環境政策と GEF - 日本政府・IGES 共催によるサイドイベント

日本代表挨拶

「日本の環境政策と GEF」における我が国代表挨拶

田中 和徳 財務省大臣政務官

2002年10月17日(木)

於 中国・北京

(序)

ご列席の皆様。

世界の首脳が、持続可能な開発の達成に、共に取り組む場として、持続可能な開発に関する世界首脳会議、いわゆる「ヨハネスブルグ・サミット」が開催された本年、GEF総会の一環として、我が国主催のサイドイベントが開催されますことは、非常に喜ばしいことであります。ご挨拶に先立ちまして、本サイドイベントの趣旨に賛同し、お集まりいただいた皆様に、謝意を表するとともに、スピーチを頂戴する谷津義男先生その他の方々、また、開催のために尽力されてきた諸兄に、敬意を表したいと思います。

(我が国の公害克服経験)

我が国は、かつて深刻な環境問題に直面し、それを克服してきたという、貴重な経験をもっています。私は、東京に隣接する川崎市に住んでいます。日本でも有数の工業地帯である一方、三十年ほど前には、全国でも有数の、激甚な大気汚染の町でありましたが、関係者の努力によって、工場による大気汚染は、著しく改善致しました。今回のサイドイベントでは、我が国の経験について紹介されますところ、それら我が国の経験が、現在、環境問題解決に取り組んでおられる皆様にとって、少なからず参考となることを願っております。

(我が国と GEF)

我が国は、設立当初から、資金面でGEFに積極的な貢献をし、米国に次ぐ、第二番目の拠出国となっております。

さきほども申し上げました通り、我が国は、環境問題を克服してきたという、貴重な体験を通じ、そのための技術やノウハウを蓄積しています。それらを、GEFの個別プロジェクトの策定・実施に役立てたいと考えます。

我が国は、最近、途上国の生物多様性保全活動に対して支援を行う「クリティカル・エコシステム・パートナーシップ・ファンド」への拠出、及び、我が国の財団法人「国際湖沼環境委員会」が提唱した「湖沼流域管理イニシアティブ」の二つにつき、貢献することとなりました。詳細については、この後スピーチがなされると、承知しております。

今回のイベントは、受益国、GEF事務局、NGO、日本政府などが一堂に会する、またとない機会であります。本日の貴重なスピーチや、活発な議論をきっかけとして、日本のGEFへの貢献が拡大することを期待して、私の挨拶に代えさせていただきます。

地球環境ファシリティ(GEF)第2回総会
- 日本の環境政策と GEF - 日本政府・IGES 共催によるサイドイベント

基調講演

「日本の環境政策の発展と国際貢献」
谷津 義男 衆議院議員(元農林水産大臣)

2002年10月17日(木)
於 中国・北京

1. はじめに

本日は、「日本の環境政策と GEF」をテーマとするセミナーでございますが、まず私から日本の環境政策についての基本的考え方 環境保全と経済発展の関係 について公害克服の経験に触れながらご紹介し、さらに、環境面での日本の国際貢献についてお話ししたいと思います。

2. 日本の環境政策の発展

(1) 日本の公害の経験

ご存じのとおり日本はかつて第二次世界大戦で敗北し、大きな打撃を受けました。世界で初めて原爆の惨禍にあった広島、長崎をはじめ、全国土はまさしく灰燼に帰しましたが、そうした灰燼のなかから日本は国際社会の支援も得て経済的には力強く復活し、1960年代には第二次世界大戦前を上回る繁栄を享受するにいたりました。しかし、この復興の過程で重大な環境汚染や自然資源の破壊が進行したのであります。

経済成長の陰で、水俣病などの有害物質による水質汚濁や主要な大都市における激甚な大気汚染は、多くの死者まで出すにいたりました。また、一方で日本人の文化や精神の基盤でもあった国土の豊かな自然は急速に失われていったのであります。亡くなられた方々の命はもとより、国土の自然環境も決して昔どおりには帰って参りません。経済発展の陰でこうしたかけがいのない貴重なものを失ってしまったことは、今、日本人の心に強く反省の念として残っております。

(2) 公害防止対策費用と被害発生後の補償・環境回復費用

かつての日本においても、また少なからぬ開発途上国においては現在でも、環境保全は経済成長を阻害するものと見なされて十分な取り組みがなされずに来ました。この点について、日本の水俣病やぜん息などの経験について、その健康被害の補償や汚染された

環境の回復に実際に要した費用と、これらを予防するために必要だった公害防止対策の費用を比較した研究が行われました。この結果は、予防の費用は発生した被害に後追いで対策を行う費用よりはるかに小さいというものでした。環境に配慮しない開発は、経済的にみても長期的には引き合わないことが実証されたのです。

(3) 環境保全と経済発展

そして、日本における環境汚染がピークに達していた1960年代後半から、公害被害者や世論の強い要求に応え、環境汚染対策が次々に強化されました。大気汚染物質や水質汚濁物質の規制などの法律の整備や環境庁の設置など行政機構の整備などの政府の取組、そしてそれにあわせて産業界での公害防止の取組が急速に進展いたしました。この過程で是非私が皆様にご報告いたしたいことは、この急速な環境保護の強化を実施しながら、日本は経済発展を続け、いやむしろ環境保護努力を更なる発展の原動力とすることに一定の成功を収めたということであります。

(4) 新しい産業(環境産業)の創出

1960年代から1970年代にかけ、矢継ぎ早に強化される規制に対応すべく、日本の企業は次々と公害防止投資を行いました。火力発電所は脱硫装置を設置し、あるいは液化天然ガスへと燃料を転換いたしました。水質汚濁の防止も徹底し、日本の河川からは水銀、カドミウムなどの有害物質は短時日のうちに姿を消したのであります。このような企業の多額の公害防止投資は、同時に新しい環境産業の創出にもつながりました。

自動車の排出ガス規制もよい例です。大都市における大気汚染に苦しむ日本は、1978年、当時米国で導入を見送られたマスキー法をベースとした世界最高水準の自動車排出ガス規制を導入いたしました。この規制に対応するため、日本の自動車メーカーは大変な技術開発努力を行いました。それは日本のメーカーの優れた燃焼管理技術、低燃費技術に結実し、更に日本のメーカーはその後世界市場において不利になるどころかむしろその優秀さを知られ発展をとげました。

このように日本は経済発展をなすとげる過程において、その前半において悲惨な公害という経験を得、その後、経済発展と環境保全を両立させることに成功しました。私は、環境保護を忘れ、経済成長にばかり邁進することの恐ろしさと、一方で環境保護は決して経済発展と相反するものではなく、むしろ更なる経済発展の起爆剤にもなりうるものであるという点をこの日本の経験から世界の方々に訴えたいと思うものであります。

(5) 今後の環境政策と経済発展

去る6月4日、日本は京都議定書を締結いたしました。先ほど述べた公害の克服やそれ

につづくオイルショックへの対応のなかで世界最高水準のエネルギー効率を達成するに至ったわが国にとって、京都議定書の目標である1990年比6%もの温室効果ガス削減を達成することは容易ではありません。しかしながら、日本は経済発展をしつつ環境保全を実行することが必要であり可能であることを信じています。自らの経験をもとに日本がいただいているこのような確信を世界の方々と共有し、世界が一体となって、環境と開発が統合されたバランスのとれた持続可能な開発への道を迷いなく進めることを願って止まないものであります。

3. 日本の環境面での国際貢献

(1) 日本の ODA と環境協力政策

さて、次に日本の環境面での国際貢献について申し上げたいと思います。日本は、地球環境の保全、また開発途上国の環境問題解決への支援にいずれも高い優先順位を置いています。

開発途上国においては、今なお多数の人々が飢餓と貧困に苦しんでおり、開発途上国の安定と発展が世界全体の平和と発展に不可欠であるという国際社会の相互依存関係を認識する必要があります。我が国はこの認識に基づき、平和国家として世界の平和を維持し、国際社会の繁栄を確保するため、その国力に相応しい役割を果たすことが重要な使命であると考え、取り組んでいます。

今日、環境問題は一国の問題にとどまらず地球規模の問題となっており、環境の保全は先進国と開発途上国が共同で取り組むべき全人類的な課題となっています。我が国は、地球環境問題は外交上最重要課題の一つに位置づけております。我が国は、公害対策のための技術革新を通じて経済成長と環境保全を同時に達成した経験・ノウハウを提供すること、これにより日本の過去の悲惨な公害経験の轍を開発途上国には踏ませないようにするということが持続可能な開発の実現のために友人としてできる最大の貢献であると考えております。

(2) 日本の ODA による政策

このようなことから、日本は開発途上国に対する援助(ODA)について大きな貢献を行っていますが、環境分野にも大きな力を入れており、1992年の地球環境サミットでの公約 - 5年間で9,000億円から1兆円を環境保全協力に支出するというもの - を大幅に上回る額で達成しました。現在でも、2000年度における日本の ODA 総額の実に30%以上に当たる4,525億円(42億ドル)は環境分野に向けられております。

(3) 日本の GEF への貢献

GEF につきましては、これまで、日本はアメリカに次いで第2位の資金規模の貢献を行ってきましたが、GEF 第3フェーズにおきましても第2フェーズと同額の487.5億円の貢献を行うことを決定しました。日本は、最近の数年間財政的に極めて厳しい状況にあり、短期的には ODA 総額は減らさざるを得ない状況にありますが、環境問題への対応及び GEF の重要性に鑑み、第2フェーズと同額の貢献を維持することを決定しました。

(4) 日本の地球環境保全の枠組み作りへの貢献

政策面におきましても、我が国は地球環境保全の枠組み作りにも力を入れており、各種条約交渉には積極的に取り組んでおります。特に、温暖化問題には積極的に貢献してきており、日本は1997年に気候変動枠組条約第3回締約国会合を開催し、京都議定書の取りまとめに尽力しました。その後、京都議定書の早期発効に向けて関係各国に働きかけを行うとともに、地球温暖化対策の実効性を確保するために、米国や途上国を含む全ての国が参加する共通のルールが構築されるよう、引き続き最大限の努力を続けているところです。また、国内においても率先して地球温暖化対策の推進に努めています。

また、アジア太平洋地域の環境大臣による「エコアジア」会議や日中韓環境大臣会合を毎年開催し、この地域での環境保全について議論しております。

(5) 日本企業の技術力等の GEF プロジェクトへの可能性

環境問題に対応するための技術につきましては、先に公害克服の経験や低公害車の開発について述べましたが、近年では日本の自動車メーカーは、世界に先駆けてエンジンとモーターを組み合わせたハイブリッドカーの販売を開始し、年内にも燃料電池車の販売を開始する予定です。また、風力や太陽光発電など、自然エネルギーの利用にも積極的に取り組んでおります。ODA におきましては日本の高い技術力が生かされておりますが、GEF プロジェクトにつきましては、現在のところ日本の参加は限られたものになっており、企業等の高い技術力が生かされておられません。また、国際協力においては NGO との連携が重要ですが、GEF プロジェクトについての日本の NGO の参加も今後の課題といえます。

4. おわりに

このように、日本の GEF 参加については具体的な取組みを通じた国際的な連携が課題であり、本日は、GEF プロジェクトへの日本の貢献を拡大するために、日本の企業の技術力や NGO の知見を生かして、どのようにしたら日本の企業や NGO の GEF プロジェクトへの参加を拡大できるかについて議論していただきたいと思っております。

ご静聴有り難うございました。

第2回 GEF 総会

ワークショップスケジュール表



Second GEF Assembly Workshop Schedule (final)

Time	Hall 3	Hall 4	Hall 6	Hall 7	Hall 8	Hall 17B	Hall 17C
Thursday 17th							
9:00-11:00	GEF SGP Power of Partnerships ⁴	Germany on OECD/DAC ²⁰	GEF / Private Sector ¹¹	NGO Network ³² (1) Voice from the Field	GEF / Renewable Energy ⁸	ICC ²⁸	GEF / Land Degradation ⁶
11:00-13:00	Report on GEF Roundtables ²⁷	Japan Environmental Policies ^{22,21}	GEF / Europe & C. Asia / Reg. ¹⁶	Youth Empl. Summit ³⁷	GEF / Africa reg: NEPAD ⁴¹	GEF / Latin America and the Caribbean / Reg. ¹⁷	GEF / Asia Pacific / Reg. ¹³
13:00-14:30	UNEP Global Environmental Outlook ⁴⁰		World Heritage Foundation ³⁶	IPEN ³⁹ (Civil Society)	GEF M&E ²⁹ (Program & Project Results)		
14:30-16:30	GEF Country Dialogue Workshops ²	GEF and POPs ⁹	GEF/Arab & W. Asia / Reg. ¹⁴	GEF and Biosafety ⁵	TNC Biodiversity Financing ³⁵		
16:30-18:30	GEF / OPS2 ³⁴	GEF & Capacity Development ¹	Switzerland Reg. Action Plan Central Asia ²³	UNFCCC / Financial Mechanism ³⁸	Millennium Ecosystem ³⁰		
Friday 18th							
9:00-11:00	Chinese NGO ²⁵	MSSRF ³¹	CBD ²⁴	Cuba / Biodiversity ¹⁹	GEF / CEPF ⁷		
11:00-13:00	NGO Network ³³ (2) GEF Partnership	GEF Intl. Waters / Tumen SAP Signing Ceremony ³	European Business Council / Switzerland ²⁶	TVE ⁴²	GEF / Transport ¹⁰		

Please refer to the List of workshops and summaries for further information on these workshops.



Second GEF Assembly List of Workshops

	IAS/EAS ¹ (LEAD AGENCY)	GEF WORKSHOPS	CONTACT			
			EA	UNEP	UNDP	WORLD BANK
1.	UNDP	Capacity Development: Lessons Learned, Promising Practices, and the Status of the Capacity Development Initiative		David Duthie	Arturo Garcia-Costas Arturo.garcia-costas@undp.org	Sam Wedderburn
2.	UNDP	Country Dialogue Workshop: Achievements, Lessons Learned, and Options for Future Directions of the GEF Dialogue with Countries		Neil Pratt	Stephen Gold Stephen.gold@undp.org	R. Broadfield
3.	UNDP	International Waters: Signing (to be organized as a Press event outside the workshop) of a regional Tumen River Strategic Action Plan		Vladimir Mamaev	Juha Uitto Juha.uitto@undp.org	C. Crepin
4.	UNDP	Small Grants Program: The Power of Partnership.		Sheila Aggarwal-Khan	Sally Timpson Sarah.Timpson@undp.org	
5.	UNEP	Biosafety: Development of National Biosafety Frameworks		Chris Briggs Chris.briggs@undp.ch	Tim Boyle	K. Mackinnon
6.	UNEP	Land Degradation: A local issue with a global reach, partnerships for change	Barbara Cooney – FAO / Vera Weille-Halle - IFAD	Daya Bragante Daya.bragante@unep.org	Maryam Niamir-Fuller	C. Crepin
7.	World Bank	Biodiversity – Critical Ecosystems Partnership Fund (CEPF)		Mark Zimsky/ David Duthie	Sally Timpson	Michael Carroll Mcarroll@worldbank.org
8.	World Bank	Renewable Energy: Building Markets for Renewable Energy in Developing Countries		Tom Hamlin	Richard Hosier/Ademola Salau	Ajay Mathur/Todd Johnson amathur@worldbank.org
9.	World Bank	POPs: Partnership for the implementation of the Stockholm Convention in Africa	Barbara Cooney - FAO / Mr. Zoltan Csizer UNIDO/ Vera Weill-Halle IFAD	Walter Jarman	Andrew Hudson	Steve Gorman Sgorman@worldbank.org

¹ The lead or coordinating agency is to assume responsibility for organizing the workshop, recognizing that all workshops are open to participation by the other Implementing Agencies. The lead agency is to contact the other Implementing Agencies and Executing Agencies where appropriate. The GEF Secretariat will be available to assist in planning the workshop when the lead agency so requests.

10.	World Bank	Transport: Sustainable Transport and the GEF		Tom Hamlin	Richard Hosier	Todd Johnson/Stephen Karekezi tjohnson@worldbank.org
11.	IFC	Private Sector: Strategies for GEF to engage the private sector	EBRD / Bill Kennedy	Tom Hamlin	Andrew Bovarnick	Louis Boorstin / Dana Younger IFC dyounger@ifc.org
GEF REGIONAL WORKSHOPS						
CONTACT						
			EA	UNEP	UNDP	WORLD BANK
12.						
13.	Asia/Pacific	Title: GEF regional workshop on challenges and responses in the GEF's Asia region program	Barbara Cooney - FAO / Mr. Akwe – UNIDO/ Vera Weill-Halle IFAD	John Pernetta/Neil Pratt	Tito Santos	Robin Broadfield & Malcolm Jansen rbroadfield@worldbank.org
14.	Arab States / Western Asia	Title: Promoting sustainable livelihood in the Arab region	Barbara Cooney - FAO / Mr. Akwe – UNIDO/ Vera Weill-Halle IFAD	Sheila-Aggarwal-Khan/Neil Pratt	Hani Daraghma Hani.daraghma@undp.org	Laurent Msellati & Christophe Crepin
15.						
16.	Europe & Central Asia	Title: GEF projects in Europe and Central Asia region: An evolving portfolio	Barbara Cooney - FAO / Mr. Akwe – UNIDO/ Vera Weill-Halle IFAD	Mark Zimsky/ David Duthi David.duthie@unep.org	Susan Legro	Milima Battagini
17.	LAC	Title: GEF regional workshop for Latin America and the Caribbean	Barbara Cooney - FAO / Mr. Akwe – UNIDO/ Vera Weill-Halle IFAD	Isabelle vanderBeek	Lita Paparoni Lita.paparoni@undp.org	Karin Shepardson

COUNTRY WORKSHOPS	
18.	
19.	<p>Title: Protecting Biodiversity and Sustainable Development in the Sabana-Camaguey Ecosystem, Cuba</p> <p>Environmental Agency, Ministry of Science Technology and Environment Cuba elisaeval@ama.cu</p>
20.	<p>Title: How to implement the OECD/DAC guidelines of integrating the Rio Conventions in development cooperation: Examples in German bilateral aid</p> <p>Ingrid Hoven / Philipp Knill – BMZ in collaboration with GTZ and KFW knill@bmz.bund.de</p>
21.	<p>Title: Environmental Policy of Japan and GEF: <i>Introduction of Environment conservation policy of Japan (Part I)</i></p> <p>Mr. Narita (CM) / Mr. K. Saitou Kazushige.saitou@mof.go.jp</p>
22.	<p>Title: Environmental Policy of Japan and GEF: <i>Partnership between Japan and GEF (Part II)</i></p> <p>Mr. Narita (CM) / Mr. K. Saitou Kazushige.saitou@mof.go.jp</p>
23.	<p>Title: Global Environment Dimensions of the Regional Environmental Action Plan for Central Asia.</p> <p>Anton Hilber Anton.hilber@buwal.admin.ch</p>
OTHER / STAKEHOLDER GROUPS / NGOS WORKSHOPS	
24.	<p>Title: Opportunities for developing a global initiative on banking business and biodiversity: Results of initial assessments and further work plan.</p> <p>Yibin Xiang Yibin.Xiang@biodiv.org</p>
25.	<p>Title: Promoting sustainable development of China: what is the role of the Chinese NGOs?</p> <p>Mr. Junhui Li webmaster@fon.org.cn</p>
26.	<p>Title: Renewable Energy and Energy Efficiency projects in Development Countries of the private sector considering Technology and Know-How Transfer</p> <p>Sebastian Gallehr, EBC barry@gallehr.de / barry@e5.org</p>
27.	<p>Title: GEF Round Table Recommendations: Looking beyond WSSD</p> <p>Kanta Kumari kkumari@worldbank.org</p>
28.	<p>Title: Arctic / Inuit Perspectives on Implementing Global Conventions</p> <p>Terry Fenge / Violet Ford / Kevin Knight icc@magma.ca</p>
29.	<p>Title: GEF Program and Project Results</p> <p>Jharstad@worldbank.org</p>

30.	Millennium Ecosystem	Millennium Ecosystem: Bridging the science – policy gap:	Walt Reid, MA, reid@millenniumassessment.org
31.	MSSRF	Title: Eco-Jobs and Eco-Entrepreneurship	Dr. Swaminathan and Dr. Sudha Nair sudhanair@mssrf.res.in
32.	NGO Network	Title: NGO Experiences with GEF: Voices from the field	Liliana Hisas lhisas@feu999.org
33.	NGO Network	Title: Enhancing the GEF-NGO Partnership: An assessment of the GEF-NGO Network	Liliana Hisas lhisas@feu999.org
34.	GEF M & E	Title: Presentation of the Second Overall Performance Study	jharstad@worldbank.org
35.	TNC	Title: Financing biodiversity conservation: lessons, tools, capacity building and new initiatives.	Dirk Kloss- TNC Dirk.kloss@gmx.net
36.	World Heritage Foundation	Title: The World Heritage Challenge	Andrew Meinke / Dr. Mu Dan Ping LAMRAM1@aol.com
37.	YES	Title: Youth Employment and Sustainable Development	Poonam Ahluwalia / YES pahluwali@edc.org poonam@youthemploymentsummit.org
38.	UNFCCC	Title: Presentation on the Executive Secretary's Report of the Review of the Financial Mechanism	George Manful gmanful@unfccc.int
39.	IPEN	Title: The Stockholm Convention and Civil Society	Jack Weinberg jackwein@uic.edu
40.	GEO	Title: GEO Outlook	Neil Pratt Neil.pratt@unep.org
41.	UNEP	Title: GEF regional workshop / Africa: NEPAD	Neil Pratt Neil.Pratt@unep.org
42.	TVE	Title: Presentation of Latin American and Caribbean micro/MACRO GEF project	Georgina Ochoa Georgina.Ochoa@tve.org.uk

第2回 GEF 総会

ワークショップ概要

GEF WORKSHOP #1

Lessons Learned, Promising Practices, and the Status of the Capacity Development Initiative

Date: October 17, 2002

Time: 16.30 – 18.30 hrs

Location: Hall 4

Summary: This workshop will explore the evolving practice of capacity development in relation to the GEF portfolio. Drawing on the GEF family's practical experience in project design and implementation, the workshop will use on-the-ground examples to showcase promising practices and lessons learned. In addition to brief presentations on specific projects and topics, this interactive workshop will afford participants an opportunity to share their views, insights, and experiences related to capacity development through a moderated dialogue. Participants will also be briefed on the current status of GEF's Capacity Development Initiative.



GEF WORKSHOP #2

GEF Country Dialogue Workshops: Achievements, Lessons Learned, and Options for Future Directions of the GEF Dialogue with Countries

Date: October 17, 2002

Time: 14.30 – 16.30 hrs

Location: Hall 3

Summary: Over the past 2/12 years, GEF Country Dialogue Workshops (CDW) have provided a multi-stakeholder dialogue platform for more than 60 countries to raise awareness of the GEF and to discuss the link between national priorities and the GEF. The objective of this side event is to present CDW achievements and recommendations from OPS2 and the independent evaluation of the CDW; and to provide a forum for country feedback and concrete suggestions for future directions.



GEF WORKSHOP #3

International Waters/Signing of the Tumen River SAP

Date: October 18, 2002

Time: 10:45 - 13:00

Location: Hall 4

Summary: GEF has supported more than 70 projects in the international waters focal area since its inception. GEF contributions have surpassed \$500 million and total project costs have reached \$1.4 billion. This workshop will present experiences with GEF international waters efforts in marine and coastal waters, as well as freshwater basins. It will also highlight the conclusions of the Second Biennial GEF International Waters Conference held in Dalian, China, in September 2002. Participants will include high-level representatives from the countries participating in GEF international waters projects, as well as representatives from the GEF entities.

NOTE: The workshop will be followed by the official signing ceremony of the Strategic Action Programme for the Tumen NET area shared by the People's Republic of China, Republic of Korea, Mongolia, Democratic People's Republic of Korea, and the Russian Federation. The signing ceremony will start at 12:45.



GEF WORKSHOP #4

Small Grants Program: The Power of Partnership

Date: October 17, 2002

Time: 9.00 – 11.00 hrs

Location: Hall 3

Summary: Partnership has made the SGP mission both a reality and a success> Working in partnership on every aspect of the program has enabled SGP to capitalize on the synergy that true collaboration can produce, making grants go further and do more. The GEF SGP side event, entitled “The Power of Partnerships”, will illustrate how SGP has brought together a wide array of stakeholders and partners (including grantees, GEF implementing agencies, bilateral donors, foundations, international NGOs, national and local government agencies, national environment funds, Indigenous Peoples’ organizations, universities, the private sectors, and UNDP core programs) to protect the global environment while generating sustainable livelihoods.



GEF WORKSHOP #5
Development of National Biosafety Frameworks

Date: October 17, 2002

Time: 14.30 – 16.30 hrs

Location: Hall 7

Summary: The Biosafety Workshop will allow all GEF agencies to give an update on the progress made to date on Biosafety under the GEF. It will explain the difference between development and implementation projects and describe how GEF's initial strategy has been brought to life by different agencies. There will also be ample opportunity for questions on actions happening or planned around the world and to hear, first hand, the views of those involved in projects.

NOTE: The first Meeting of the Parties of the Cartagena Protocol is most likely to take place before March 2003, when key decisions will be made on future activity in capacity building for the Biosafety Protocol.



GEF WORKSHOP #6
Land Degradation: A local issue with a global reach and partnerships for change

Date: October 17, 2002

Time: 9.00-11.00 hrs

Location: Hall 17C

Summary: This side event aims to provide the audience with a better understanding of key issues in land degradation in the framework of its designation as a new GEF focal area. The issue will be introduced by an overview of the extent and magnitude of the problems related to land degradation, making it a major global issue. Findings of the workshops of the Scientific and Technical Advisory Panel (STAP) on land and water issues will be briefly presented as active components for the new operational program in land degradation.

The overview will be followed by presentations of partnerships at all levels that address land degradation by generating local and global benefits. Both the GEF Implementing Agencies and Executing Agencies will present concrete examples of projects and case studies with positive impacts on the communities involved as well as at institutional and policy level in terms of sustainable land management. H.E. the Minister of Environment of Algeria, Mr. C. Rahmani will introduce the World Desert Foundation. The side event will conclude with a panel discussion with representatives from countries, UNEP, UNDP, the World Bank, FAO, IFAD, UNCCD Secretariat, the Global Mechanism, and ADB.

~~~~~

**GEF WORKSHOP #7**

***Critical Ecosystem Partnership Fund (CEPF)***

**Date: October 18, 2002**

**Time: 9.00-11.00 hrs**

**Location: Hall 8**

**Summary:** The Critical Ecosystem Partnership Fund (CEPF) is a joint initiative among Conservation International, the Global Environment Facility, the Government of Japan, the MacArthur Foundation, and the World Bank to advance the global conservation agenda, focusing on global biodiversity “hotspots”. Grant resources are supporting work in nine hotspots and underwriting initial preparations in six more.

CEPF is a catalyst for strategic working alliances among diverse groups, combining unique capacities and eliminating duplication of efforts for a comprehensive, coordinated approach to conservation challenges. Investments support management of protected areas and coordination of biodiversity corridors; training; trans-boundary planning; and local dialogue with extractive industries; conflict resolution; priority setting and consensus building; the capacity building for indigenous organizations and stronger partnerships between the private sector and protected areas. The CEPF provides funding primarily to nongovernmental, community, and grassroots organizations. Funding complements government initiatives and financial resources already available to governments and official agencies in developing countries.

~~~~~

GEF WORKSHOP #8

Renewable Energy: Building Markets for Renewable Energy in Developing Countries

Date: October 17, 2002

Time: 9.00-11.00 hrs

Location: Hall 8

Summary: This workshop will review progress and challenges for establishing markets for renewable energy in developing countries. It will draw on experiences in developing countries with renewable energy, citing progress and remaining challenges in policy and regulatory reform, capacity building, micro finance, income generation, social uses, and off-grid and grid-connected renewables. Emerging lessons will be discussed together with how these insights are shaping the next generation of renewable energy projects in developing countries.

~~~~~

## **GEF WORKSHOP #9**

### ***Partnerships for the Implementation of the Stockholm Convention in Africa***

**Date:** October 17, 2002

**Time:** 14.30 – 16.30 hrs

**Location:** Hall 4

**Summary:** This workshop will describe early efforts by the GEF “family” to assist countries to implement the Stockholm Convention and reduce or eliminate releases of Persistent Organic Pollutants (POPs) and subsequent human and environmental exposure. The State Environmental Protection Administration of China will present an overview of the program to phase out POPs in China.

The workshop will present an overview of the African Stockpiles Program (ASP), followed by a panel discussion. ASP brings together the GEF, implementing and executing agencies, convention secretariats, NGOs, and pan-African organizations to clean up, safely dispose of, and prevent further stockpiling of obsolete pesticides. This program relates closely to several international legal instruments that address various aspects of chemical and hazardous material management. The workshop also will show how complementary initiatives funded by the GEF, such as the development of National Implementation Plans for the Stockholm Convention, reinforce this effort.

~~~~~

GEF WORKSHOP #10

Sustainable Transport and the GEF

Date: October 18, 2002

Time: 11.00 – 13.00 hrs

Location: Hall 8

Summary: The workshop will focus on emerging priorities for GEF Operational Program number 11 (OP11) for sustainable transport, including the promotion of land-use planning, mass public transit, and non-motorized transport in developing countries. The session will describe how these interventions can contribute to climate change mitigation, how this contrasts to initial projects proposed under OP11, and how new priorities can be integrated into transport planning and investments in developing countries. Good practice examples from developing countries will be highlighted.

Expected presenters include: Ms. Pam Gallares-Oppus, Southeast Regional Director, Cities for Climate Protection, ICLEI; Stephen Karekezi, presenting a summary of STAP brainstorming meeting; and Yasemin Biro, presenting OP11 case studies from Bogota and Manila.

~~~~~

**GEF WORKSHOP #11**

***Strategies for GEF to Engage the Private Sector***

**Date: October 17, 2002**

**Time: 9.00 – 11.00 hrs**

**Location: Hall 6**

**Summary:** Coordinated and led by the International Finance Corporation (IFC), this workshop will explore a number of the key themes underlying this issue. GEF's interest in this area is evident from the conclusions of the GEF's Second Overall Performance Study (OPS2), the recently launched "Review of GEF Engagement with the Private Sector", and the forthcoming GEF policy paper to be presented to the GEF Council in May 2003.

The workshop will describe initiatives by IFC and other GEF Implementing Agencies to use grant and non-grant contingent financial modalities to mobilize the private sector and commercial capital sources in support of GEF objectives and share the lessons being learned. The workshop will conclude with a question-and-answer session and panel discussion on the topics raised. In addition to the speakers, the panel will include representatives from the GEF Secretariat and from NGOs who have important perspectives to share on these issues.

~~~~~

GEF WORKSHOP #13 (REGIONAL)

GEF Regional workshop on Challenges and Responses in GEF's Asia Region Program

Date: October 17, 2002

Time: 11.00-13.00 hrs

Location: Hall 17C

Summary: This workshop will discuss some of the key challenges facing GEF projects in the Asia Region and how a number of innovative GEF co-financed projects are addressing them. The workshop will feature several short project case studies from the different GEF focal areas, with time for discussion after each case study and an open discussion session on other regional portfolio issues.

The cases include *Fostering local stewardship of biodiversity: experience from the Periyar Tiger Reserve in India* (Vinod Uniyal, Director, Periyar Tiger Reserve); *The Peoples' Republic of China/GEF partnership on land degradation* (Nessim Ahmad and Bruce Carrad, Asian Development Bank); *Promoting regional collaboration and coordination to address threats to the South China Sea* (John Pernetta, Director of the UNEP South China Sea Program);

Conserving agricultural biodiversity - examples from the FAO Global Program (Matthias Halwart, Cambodia case study, and Lim Guan Soon and Prof. Li Shaoshi, China case study).



GEF WORKSHOP #14 (REGIONAL)

Promoting Sustainable Livelihood in the Arab Region through Global Environment Management

Date: October 17, 2002

Time: 14.30-16.30 hrs

Location: Hall 6

Summary: The document *GEF in the West Asia and North Africa Region* will be presented, followed by three GEF project presentations, including work on Socotra (Yemen) and in the Red Sea. The workshop will highlight the role of the GEF in promoting national capacities through GEF enabling activities directed at strategic biodiversity and climate change planning. Finally, it will shed light on the Small Grant Programme in the region.



GEF WORKSHOP # 16 (REGIONAL)

GEF projects in Europe and Central Asia Region: An Evolving Portfolio

Date: October 17, 2002

Time: 11.00-13.00 hrs

Location: Hall 6

Summary: The workshop will review a sampling of GEF projects under implementation in the region in the biodiversity, international waters, climate change, and persistent organic pollutants focal areas and provide an opportunity to discuss constraints, opportunities, and challenges in developing GEF projects with GEF operational and political focal points from the region.



GEF WORKSHOP #17 (REGIONAL)

GEF Regional Workshop for the Latin American & Caribbean Region

Date: October 17, 2002

Time: 11.00-13.00 hrs

Location: Hall 17B

Summary: This workshop will include presentations by UNDP, WB, UNEP, and FAO followed by a Panel discussion. Three focal area specific presentations will present the regional program retrospectively; a fourth presentation will be made on the new operational programs; and a fifth presentation will address the regions program as it compares with other regions. This will be followed by a short panel discussion on the future directions and visions for GEF in the region. The panel will be moderated by the Chairwoman of STAP.



GEF WORKSHOP # 18 (CUBA)

Protecting biodiversity and establishing sustainable development in the Sabana-Camagüey Ecosystem, Cuba

Date: October 18, 2002

Time: 9.00-11.00 hrs

Location: Hall 7

Summary: The Sabana-Camaguey Ecosystem (SCE) encompasses an approximately 465-kilometer strip along the Cuban northern central zone. The study area covers about 75,000 km² and comprises the northern watershed (19,000 km² watershed, which includes the whole mainland and has been defined as the watershed or hydrographic basins draining in the coastal waters of the ecosystem); the archipelago (8,311 km² sea shelf with its keys, which totaling 3 400 km² and they represents 60% of all the keys in Cuba) and the Exclusive Economic Zone (oceanic zone). The archipelago has been designed as a high priority area for biodiversity conservation both at national and international level (PSSA by OMI). It is subject to a wide tourism development program, it is the second important fishing zone in Cuba and oil is prospected and extracted in its western edge. The target goal of the project in a first phase was addressed to formulate a strategic plan which fully integrates tourism and other economic development activities with biodiversity conservation, on the basis of the strengthen the capacities and awareness for the protection and sustainable development of the SCE.

A second ongoing phase is an implementation process of prioritized actions derived from the above mentioned strategy, comprising the establishment of 8 prioritized Protected Areas as well as an Integrated Coastal Management Authority for the SCE, assessment and monitoring

of ecosystems of global concern, the implementation of a system of five provincial monitoring stations (laboratories), the application of environmental economy to some priority biodiversity issues, the strengthening of public education and awareness about local biodiversity problems and opportunities, elaboration of both strategic and detailed environmental zoning and planning for the protection and sustainable development in ecologically sensitive areas. It also includes training on environmental monitoring and on sustainable development practices to local relevant stakeholders, decision-makers and communities, as well as the documentation and transfer of the experiences and lessons learned to other coastal areas.

~~~~~

**GEF WORKSHOP #20 (GERMANY)**

***Implementation of the OECD/DAC Guidelines on Integrating the Rio Conventions in Development Cooperation: Case studies from German bilateral aid***

**Date: October 17, 2002**

**Time: 9.00-11.00 hrs**

**Location: Hall 4**

**Summary:** The objective of the seminar is to present and discuss the OECD/DAC guidelines on Integrating the Rio Conventions into Development Co-operation and how examples in German bilateral aid strive to implement the guidelines. Ms. Ingrid Hoven, head of the environment division of the German Federal Ministry for Development and Cooperation, will introduce the workshop. Mr. Joseph Gamperl, Kreditanstalt für Wiederaufbau, will present the content of the OECD/DAC Guidelines. The main part of the workshop is reserved for an illustration to what extent the OECD/DAC Guidelines are already taken into consideration in current projects especially in China. An open discussion is welcomed.

~~~~~

GEF WORKSHOPS #21 & 22 (JAPAN)

Environmental Policy of Japan and the GEF

Date: October 17, 2002

Time: 11.00-13.00 hrs

Location: Hall 4

Summary: Japan has overcome serious pollution problems that occurred in the past. There have been active involvements of the private sector and citizens in addition to the effort of the government. Internationally, Japan recognizes the importance of tackling global environmental problems and is involved in the formulation and promotion of international treaties as well as contributing to the financial mechanisms including the GEF. In this GEF side event, development of Japanese environmental policies and Japan's contributions to the

international society will be introduced, and a practical discussion will be held among participants including international organizations and stakeholders in developing countries on how to expand the involvement of NGOs and the private sector of Japan in GEF projects, and to match the application of Japanese technologies to actual needs in the field.

~~~~~

**GEF WORKSHOP #23 (SWITZERLAND)**

*Global Environment Dimensions of the Regional Environmental Action Plan for Central Asia*

**Date: October 17, 2002**

**Time: 16.30-18.30 hrs**

**Location: Hall 6**

**Summary:**

~~~~~

GEF WORKSHOP #24 (CBD)

Opportunities for Developing a Global Initiative on Banking Business and Biodiversity: Results of initial assessments and further work plan.

Date: October 18, 2002

Time: 9.00-11.00 hrs

Location: Hall 6

Summary:

~~~~~

**GEF WORKSHOP # 25 (CHINESE NGO)**

*Promoting Sustainable Development in China - What's the Role of the Chinese NGOs?*

**Date: October 18, 2002**

**Time: 9.00 -11.00 Hrs**

**Location: Hall 3**

**Summary:** Four speakers from different kinds of NGOs will be invited to this workshop to make presentations on their efforts to promote sustainable development. After each presentation, the audience can make comments and discuss with the speakers.

Friends of Nature is coordinating a group of Chinese NGOs participating in the Assembly,

who are very interested in what the NGOs in other countries do - NGOs being a new phenomenon in China. We are especially interested in your practical experiences in promoting sustainable development locally.



**GEF WORKSHOP #26 (EUROPEAN BUSINESS COUNCIL / SWITZERLAND)**  
*European Business Council: The Role of Small and Medium Enterprises in the GEF Context*

**Date: October 18, 2002**  
**Time: 11.00 – 13.00 hrs**  
**Location: Hall 6**

**Summary:** The following topics will be discussed.

Challenge and future, welcome address by Director Philippe Roch of the Swiss Agency for the Environment, Forest and Landscape

Climate is business, the e5 strategy by Sebastian Gallehr, Managing Director European Business Council

GEF - Private Public Partnership - Small & Medium Enterprises a chain as strong as its weakest link by Alex Arter, Managing Director of Entec AG, Switzerland

The untapped Renewable Energy/Energy Efficiency potential by Daniel Ruoss, Managing Co-Director Enecolo AG, Switzerland

The need for technology and know-how transfer by Prof. O. Voigt, CEO Wind Solar AG, Germany

Panel Discussion (Roch, Gallehr, Voigt, Arter, Ruoss, Prof. Z. Kegong)



**GEF WORKSHOP #27**  
*Report on GEF Roundtables*

**Date: October 17, 2002**  
**Time: 11.00-13.00 hrs**  
**Location: Hall 3**

**Summary:** The workshop will provide an opportunity for invited speakers to reflect on the recommendations of the GEF roundtables, the achievements of WSSD on these substantive issues, as well as critical next steps which must be taken to ensure success on these fronts in the coming decade. Each invited speaker will provide reflections on the assigned topic, and the Chair will preside over the discussion. The workshop will be preceded by a presentation by Mr. Kenneth King, GEF, who will provide an overview of the recommendations from the four roundtables.



**GEF WORKSHOP #28 (ICC)**  
*The Circumpolar Arctic and GEF*

**Date:** October 17, 2002

**Time:** 9.00-11.00 hrs

**Location:** Hall 17B

**Summary:** Following the demise of the cold war the circumpolar Arctic is attracting increased scientific and political interest. The region is now characterized as a "barometer" or "indicator" of the globe's environmental health, particularly in relation to climate change and long-range transport of persistent organic pollutants and mercury.

Inuit, Sami, Athabascans and many other Indigenous peoples use and occupy millions of square kilometers of land and ocean in the circumpolar Arctic as a result of their hunting, fishing, trapping, herding, and gathering economies. Notwithstanding significant social and economic changes in recent decades, these peoples maintain and use traditional knowledge to manage the natural environment. The eight Arctic states have partnered with six Indigenous peoples organizations through the Arctic Council enabling both traditional knowledge and science to underlie, inform, and enable the Arctic to act as the globe's barometer. The Global Environment Facility, already co-funding projects in northern Russia, should promote projects in the circumpolar Arctic to integrate traditional knowledge of Arctic Indigenous peoples into environmental monitoring arrangements that benefit the globe. The Inuit Circumpolar Conference and Russian Association of Indigenous Peoples of the North will outline these arguments and opportunities at the seminar.



**GEF WORKSHOP #29 (MONITORING AND EVALUATION)**

*Overview of GEF Program and Project Results*

**Date:** October 17, 2002

**Time:** 13.00 – 14.30 hrs

**Location:** Hall 8

**Summary:** Overview of GEF Program and Project Results by GEF M&E team. The workshop will be based on the 2001 GEF Program Studies and the recently completed publication of the same name. GEF M&E staff will present findings and conclusions of the five Program Studies conducted in 2001.



**GEF WORKSHOP #30 (MILLENNIUM ECOSYSTEM ASSESSMENT)**

*Bridging the Science-Policy Gap*

**Date:** October 17, 2002

**Time:** 16.30 – 18.30 hrs

**Location:** Hall 8

**Summary:**



**GEF WORKSHOP #31 (MSSRF)**

*Ecology of Hope Initiative*

**Date:** October 18, 2002

**Time:** 9.00 – 11.00 hrs

**Location:** Hall 4

**Summary:** Today, the famine of jobs or livelihood opportunities leading to lack of purchasing power is the primary cause for the famine of food at the household level. The world is witnessing jobless economic growth, while what is needed urgently is job-led economic growth. Creating sustainable employment and livelihoods that target the poor, especially women and youth, should be viewed as a fundamental element of global policies and a action that integrate concerns for food, income, and peace while maintaining a stable environment for future generations. The emphasis should be on technology, training, techno-infrastructure (including electronic information and communications), and trade. The moral and ethical obligation of all governments is to provide every household with the opportunity for a productive and healthy life.

The M.S. Swaminathan Research Foundation (MSSRF), with funding from the Global Environment Facility (GEF), and the MacArthur and Lemelson Foundations, finalized a study on co-jobs and eco-entrepreneurships. This study documents existing initiatives in both developing and industrialized countries that offer employment and livelihood opportunities through environmentally sound enterprises. The focus is on the application of innovative technologies towards the sustainable use of natural resources, including biochemistry and genetics, biodiversity and energy, and land and water resources. An international database has been set up to inform partners in government, non-governmental organizations, small businesses, and local groups on the types of environmental enterprises; eco-technologies used; outcomes in terms of employment, income, and markets; and other basic descriptive information.

An international consultation was held at MSSRF, Chennai, India on February 2002 on the topic *Inter-Disciplinary Dialogue on New Technologies: Reaching the Unreached*. An output of the consultation was a draft *Message of Hope* for participants at the World Summit on Sustainable Development (WSSD) in Johannesburg, South Africa along with the data base and the publications was released at the launch of the "Ecology of Hope Initiative" a curtain raiser to the WSSD at the Foundation on the 20<sup>th</sup> of August and also at the WSSD where a one day consultation was held to disseminate the Message of Hope. This was received well. The Message of Hope was also disseminated at the Youth Employment Summit, which was held last month. A session will be held at Beijing during the GEF Assembly to share the results of this study and discuss the way forward on this Initiative.

~~~~~

GEF WORKSHOP #32 (NGO NETWORK)

Title: *NGO Experiences with GEF: Voices from the field*

Date: October 17, 2002

Time: 9.00 – 11.00 hrs

Location: Hall 7

Summary: Voices from NGOs from all over the world will be heard in this workshop. Representatives from Latin America and the Caribbean, Middle East, Africa and Asia will share their experiences and lessons learned, providing feedback, information for improved participation, transparency and efficiency for the implementation of GEF-funded projects.

~~~~~

**GEF WORKSHOP #33 (NGO NETWORK)**

*Enhancing the GEF-NGO Partnership: An assessment of the GEF-NGO network*

**Date: October 18, 2002**

**Time: 11.00 – 13.00 hrs**

**Location: Hall 3**

**Summary:** A review of the GEF-NGO Network will be carried out during this session, in order to identify ways to enhance its performance, its outreach efforts, and its impact at the international, regional and national levels.

~~~~~  
GEF WORKSHOP #34 (GEF Second Overall Performance Study)

The first decade of the GEF: Second Overall Performance Study

Date: October 17, 2002

Time: 16.30 – 18.30 hrs

Location: Hall 3

Summary: The First Decade of the GEF: Second Overall Performance Study by Leif Christoffersen, OPS2 Team Leader. This workshop will complement the presentation during the Assembly's plenary. Mr. Christoffersen will further discuss findings and recommendations put forward by the OPS2 study.

~~~~~  
**GEF WORKSHOP #35 (TNC)**

*Financing biodiversity conservation: Lessons, tools, capacity building and new initiatives*

**Date: October 17, 2002**

**Time: 14.30 – 16.30 hrs**

**Location: Hall 8**

**Summary:** Program elements of the workshop are:

- Highlights of recently completed GEF Study of financial arrangements for biodiversity conservation;
- Overview of conservation finance alliance;
- Review of conservation finance guide tools (brief demonstration);
- Overview of plans for training program on conservation finance;
- Ideas on new conservation funding initiatives.

~~~~~

GEF WORKSHOP #36 (WORLD HERITAGE FOUNDATION)
Development of National Biosafety Frameworks

Date: October 17, 2002

Time: 13.00 – 14.30 hrs

Location: Hall 6

Summary: International recognition and acclaim is almost always a mixed blessing. When UNESCO designates a particular place as a "World Heritage Site," it highlights and energizes two potentially conflicting interests: 1) the interest of the world community in preserving and protecting the site for the enjoyment of present and future generations; and 2) the interest of the adjacent communities in profiting from the increased prestige and tourism that will inevitably result. The World Heritage Foundation workshop will introduce you to individuals and organizations (Professor Xie Ninggao, head of the World Heritage Research Center of Peking University, and Dr. Xie Yan of the Eco-Security Task Force of the Chinese Academy of Sciences) engaged in innovative and effective work in China; work aimed at insuring the preservation of bio-diversity, and cultural and environmental integrity, at World Heritage Sites in China. In addition, you will be introduced to a new prototype methodology for creating baseline assessments for use in evaluating threats, needs and opportunities at World Heritage Sites around the world. This methodology was developed by the World Heritage Foundation (represented at this workshop by its President, Andrew C. Meinke, Jr., and its Executive Director, Dr. Mu Dan Ping). This new methodology produces documentation that will serve as a comprehensive reference point for both planning and monitoring purposes. Your active involvement and sharing of your own experiences and perspectives will be valued highly.

~~~~~

**GEF WORKSHOP #37 (Y E S)**  
***Youth Employment and Sustainable Development***

**Date: October 17, 2002**

**Time: 11.00 – 13.00 hrs**

**Location: Hall 7**

**Summary:** The Youth Employment Summit has launched a decade campaign of action to ensure that an additional 500 million youth, especially youth facing poverty, can gain productive employment by the year 2012. The Objective of this Workshop is to generate awareness on the potential that Renewable Energy has to achieve the twin goals of creating livelihoods (by providing employment) and conserving the environment. This is a very

appropriate means of creating employment in a sustainable way and involving communities in conserving the environment while generating livelihoods.

Publications on Renewable Energy will be given out at the workshop. These will include a report on employment opportunities in Renewable Energy as well as a toolkit on how to start a Renewable Energy Enterprise, and also a YES Perspective on Sustainable Development which stresses on the role that Renewable Energy plays in promoting Sustainable Development. In addition, this workshop will provide an opportunity to make links and find new ways of working together.

~~~~~

GEF WORKSHOP # 38. (UNFCCC)

Presentation on the Executive Secretary's Report of the Review of the Financial Mechanism

Date: October 17, 2002

Time: 16.30 – 18.30 hrs

Location: Hall 7

Summary: When the Parties to the UN Climate Change Convention meet in New Delhi starting 23 October, they will review the GEF's performance as the operator of the Convention's financial mechanism. The Climate Change Secretariat has prepared a synthesis report on this issue based on country views, COP and SBI documents, the GEF's annual reports to the COP, the second overall performance study of the GEF, and other relevant documents.

The side event offers the possibility of GEF delegates who do not necessarily attend the meetings of the Climate Change Convention to get familiar with the report. Key delegates will give their perspective on the report and on cooperation between the Climate Convention and the GEF (a summary of the report will be made available to participants). It will also explore how best to move forward.

GEF WORKSHOP #39 (IPEN)
The Stockholm Convention and Civil Society

Date: October 17, 2002
Time: 13.00 – 14.30 hrs
Location: Hall 7

Summary:



GEF WORKSHOP #40 (GEO)
Global Environmental Outlook

Date: October 17, 2002
Time: 13.00 – 14.30 hrs
Location: Hall 3

Summary: This workshop will include: a welcome from Mr. Klaus Topfer, Executive Director of UNEP; presentation of GEO and the GEO for GEF Booklet *Change and Challenge* (Ms M Cheatle, Head, GEO Section, DEWA/UNEP); Launch of Chinese GEO-3: State Environment Protection Administration (SEPA), China and UNEP; panel discussion on GEO and meeting the environmental information needs of tomorrow's decision makers (H.E. The Minister, State Environment Protection Administration, China Ms Julia Carabias, Chairperson, GEF Scientific and Technical Advisory Panel, Representative of the African Ministerial Conference on the Environment).



GEF WORKSHOP #41 (REGIONAL)
Africa Regional Workshop: the Environment Component of the New Partnership for Africa's Development

Date: October 17, 2002
Time: 11.00 – 13.00 hrs
Location: Hall 8

Summary: Less than one week after the adoption of the New Partnership for Africa's Development (NEPAD) by the Lusaka Summit in July 2001, the GEF was quick to provide financial support, through UNEP, to further develop and finalize the environmental component of NEPAD. This support has been provided in the form of a medium-sized project grant that supports the development of an Environmental Action Plan for Africa

including a detailed program of interventions within ten thematic areas. Against the background of the recently published “Africa Environment Outlook” and the results of WSSD, this workshop presents an outline of the Action Plan being developed and invites participants to consider the ways and means of its implementation and financing, including the contribution of the GEF Agencies.



GEF WORKSHOP #42 (TVE)

Presentation of Latin America and Caribbean micro/macro GEF project

Date: October 18, 2002

Time: 11.00 – 13.00 hrs

Location: Hall 7